

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和8年 2月 27日

保育所等訪問支援シンパシーエンパシー中津留

回答数

26施設

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	24	2		訪問時のフィードバックが丁寧で助かっている。 月1回ではあるがよく観察し、学校や保護者に分かりやすく伝えている。 学校以外での様子の共有ができ接し方など参考になる。 モンテッソーリを取り入れている為、取り入れやすいものと難しいものがある。 具体的で分かりやすい説明や助言があり役立てることができる。 訪問後すぐにフィードバックがあり有難い。 職員の対応をみたうえでの助言があり分かりやすい。 児童の状態（緊張状態にある時の具体例等）を詳しく知ることで児童理解に繋がった。	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	26			訪問の対象児童以外の支援にも繋げることができる。 学校現場のことを理解してくれており、情報共有もスムーズ。 様々な知識や技術を知ることができる。専門的なアドバイスがある。 支援に対する考え方を聞くことができた。 支援のポイントがはっきりしている。 児童ひとりひとりを大事にしているのが伝わる。 複数校の支援や訪問をおこなっている実績があり、集団場面での課題の対応に繋げることが出来る。	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	26			接し方の参考になっている。適切に必要なアドバイスがある。 質問に対し丁寧な回答がある。	

4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	22	4	<p>対象児童以外の生徒も訪問時に落ち着いている。 保護者が安心しているのが感じられる。 児童理解が深まったことで、声かけを変えることができた。 助言をうけ実践し、その後相談することができるため、課題を一つ一つクリアしていける。 困りが軽減された。 解消や軽減された課題もあるがそうでないこともある。 課題や困りごとが明確になったことで、困りが起きそうな場面を事前予測することができ、予測するなど丁寧な対応ができるようになった。 不登校生について情報共有ができることで生徒や保護者の困りや苦手な事を把握することができた。円滑な進路指導にも繋がっている。</p>	
5	事業所からの支援に満足していますか。	24	2	<p>大変満足している。 周囲の環境に働きかけてくれる。 毎月訪問があり、相談しやすい。都度支援について考えたりアドバイスがある。 訪問回数を月1回ほどに増やした方が良い。</p>	<p>・ご回答ありがとうございます。安定して訪問していけるように検討をおこなっていきます。</p>
<p>その他のご意見</p>				<p>ご意見を踏まえた対応</p>	
<p>連絡帳だけでは伝えきれない様子を保護者に伝えてくれることがありがたい。 児童のサポートにより保護者が安心しているのを感じるが、訪問支援の目的としてこれで良いのか、と分からない時がある。 分からない事や気づけない事に対し、専門的な視点や対処法を教えてもらった。質問に対しても丁寧な回答があった。 放課後等デイサービスでの様子も聞いて良かった。 過去の児童の様子を知っている職員が来ることに安心感を感じた。 観察後の話し合いの時間帯やタイミングなどの打ち合わせが事前にできると良い。 毎月の報告書により様子を詳細に知ることが出来る。個での様子だけでなく、集団でのこまりごと等も共有してほしい。 学校以外の様子の共有もでき、課題と今後の目指す姿を同じ方向性で考えることができた。</p>				<p>・ご回答いただきありがとうございます。引き続き子供たち一人ひとりの成長や環境作りの提案を各施設のご担当者様と連携を図りたいとおもいます。 ・訪問日程の調整が遅くなってしまうことがあり、ご迷惑をおかけしております。訪問日のお知らせや調整がスムーズにおこなえるようなシステム作りをおこなっていきます。</p>	